

インドネシアとフィリピンの貯穀害虫

池長裕史氏原図（本文36ページ参照）



▲地方の精米工場で積み上げられた麻袋（インドネシア、ボゴール近郊）



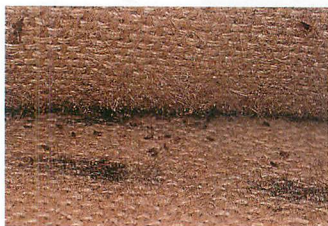
▲精米から異物を取り除く女性たち（同、チャンジュール）



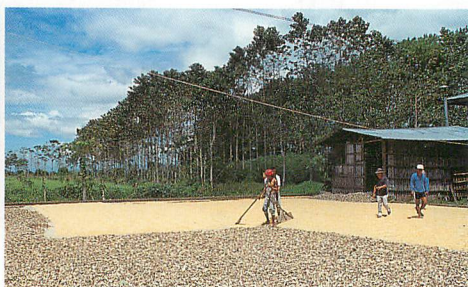
▲精米工場での籾の天日乾燥（インドネシア、ペラブハン・ラトゥ）



▲食糧調達庁の倉庫（インドネシア、テレボン港）



▲麻袋についたコクヌストモドキ（インドネシア、テレボン港）



▲コブラとトウモロコシの天日乾燥（フィリピン、ブギンドン州）



▲トウモロコシ倉庫の内側（フィリピン、ブギンドン州）



▲トウモロコシの屋外CO₂貯蔵（NAPHIRE構内）



▲大規模の精米工場（フィリピン、マニラ市内）



▲NFAライス（フィリピン、マニラ市内）



▲ロックウール栽培と土耕栽培 (シルバーマルチ部分はロックウール)

◀ガーベラの栽培状況



▲根腐病：根の腐敗症状



▲根腐病：病原菌の遊走子のう

◀根腐病：発生圃場、畝に沿って発病



▲斑点細菌病：葉に発生した症状



▲斑点細菌病：病原細菌



▲菌核病：株に発生した症状



▲モザイク病：葉のモザイク症状



▲モザイク病：花卉の脱色、奇形症状